

直近の家庭用牛乳乳製品の販売状況の推移を毎週発信してまいります。

お知らせ：次回発信日は11月25日週報(予定)

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

「～価格改定後の販売個数の減少はわずかも今後の影響は不透明～」

- ・11/7週の牛乳類家庭内消費は、前週(10/31週)と比較し販売個数は牛乳、成分調整、加工乳は減少し、乳飲料は横ばいとなった。現時点では、小売り流通の価格改定の動きにばらつきがあることも影響していると考えられるが、牛乳の消費減退の影響はわずかな程度に留まっている。他方、比較的安価な乳飲料へ一定程度シフトしている可能性のある動きが見られる。
- ・ヨーグルト類については、前週に比べてドリンクタイプの販売個数は横ばい、個食・大容量タイプは減少した。特にドリンクタイプは5週続けて前年対比では上回っており、価格改定による消費減退の影響は見られない。
- ・全国旅行支援やインバウンドによる人出が回復してきているが、新型コロナ「第8波」の兆候が出始めているほか、相次ぐ物価高による節約志向が消費に如何に影響するか予測が困難である。価格改定の影響についても現状は微細であると見られるが、この傾向が継続するかは不透明であるため、引き続き牛乳類全体の需要動向を注視する必要がある。
- ・業界内外を巻き込んだ消費拡大の取り組みが進められているところではあるが、家庭内消費については更に厳しい状況となる可能性もあり、例年生乳需給の大幅な緩和が想定される年末年始を見据えて、継続的な需要喚起に取り組むことが重要である。

【牛乳類の販売速報(推定値):インテージSRI+】

(1)直近動向(表①参照)

・直近(11/7週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳:同98.0%、成分調整牛乳:同97.0%、加工乳:同100.0%、乳飲料:同105.0%。

牛乳類トータルでは同99.0%

※参考:2020年度比は、牛乳:92.2%、成分調整牛乳:88.6%、加工乳:99.1%、乳飲料:94.2%(牛乳類トータル:92.4%)

※参考:2019年度比(コロナ禍前)の牛乳販売個数は96.4%。

・販売単価は、牛乳:205.0円、成分調整牛乳:187.1円、加工乳:199.8円、乳飲料:156.6円。

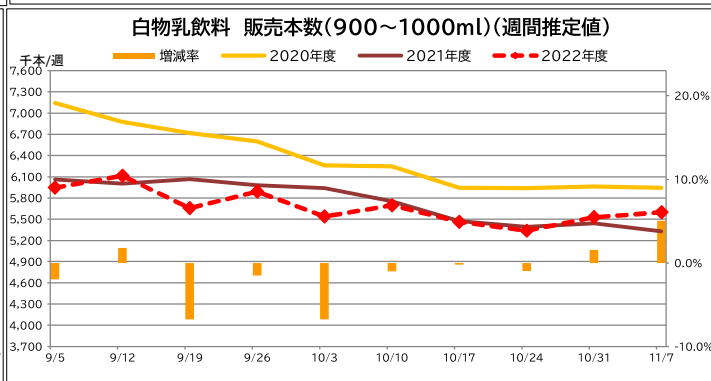
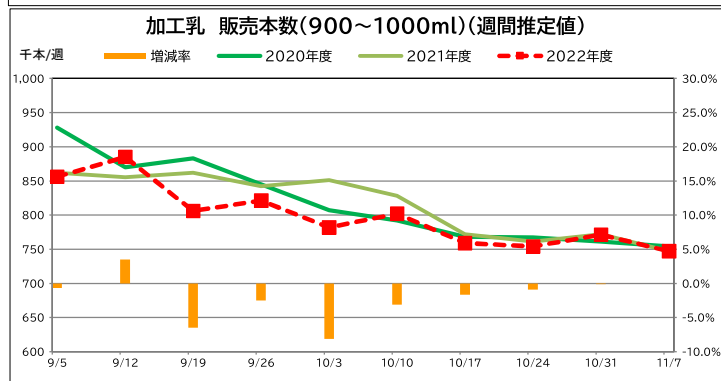
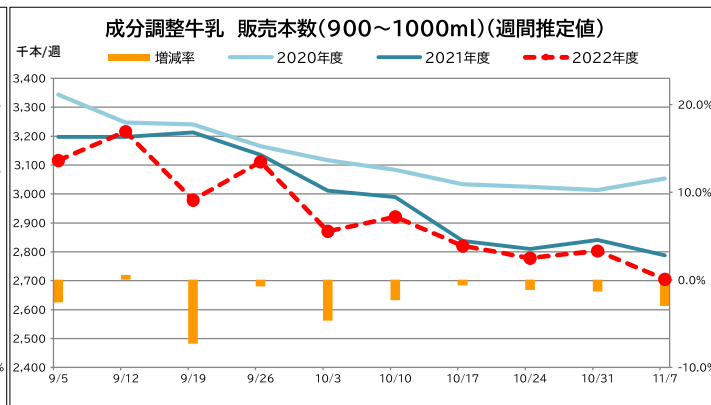
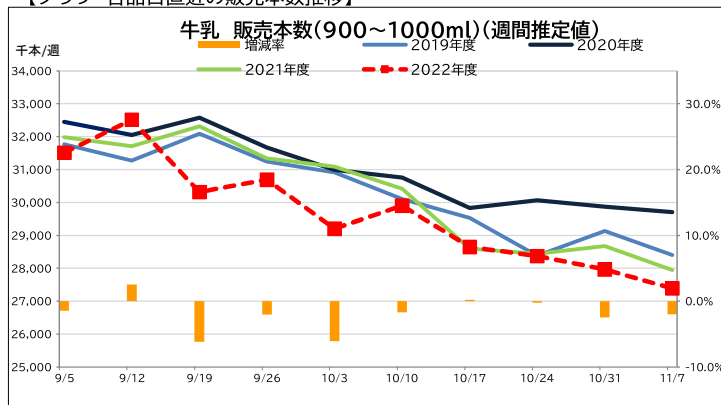
※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位:千個、円)

品目	区分	9.19-	9.26-	10.3-	10.10-	10.17-	10.24-	10.31-	11.7-
トータル	販売個数	39,757	40,513	38,395	39,317	37,690	37,241	37,066	36,438
	販売個数前年比	93.7	98.1	93.9	98.3	100.0	99.6	98.3	99.0
	販売単価	183.3	182.9	183.4	182.9	183.1	183.3	191.0	196.1
牛乳	販売個数	30,316	30,693	29,203	29,901	28,649	28,373	27,965	27,388
	販売個数前年比	93.8	97.9	93.9	98.3	100.2	99.8	97.5	98.0
	販売単価	190.3	190.1	190.6	190.0	190.2	190.3	199.0	205.0
成分調整牛乳	販売個数	2,979	3,111	2,871	2,921	2,820	2,778	2,803	2,705
	販売個数前年比	92.7	99.2	95.3	97.7	99.4	98.9	98.7	97.0
	販売単価	174.3	173.6	174.1	173.3	174.0	173.9	181.6	187.1
加工乳	販売個数	806	821	782	802	759	754	771	747
	販売個数前年比	93.4	97.5	91.9	96.9	98.4	99.1	100.0	100.0
	販売単価	190.4	190.1	189.5	189.8	189.8	190.9	195.7	199.8
乳飲料	販売個数	5,656	5,888	5,539	5,694	5,462	5,336	5,526	5,598
	販売個数前年比	93.2	98.5	93.2	99.0	99.8	99.0	101.6	105.0
	販売単価	150.0	149.5	149.7	149.5	149.3	149.9	154.3	156.6

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

(1)直近の動向(表②参照)

直近(11/7週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比100%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同90%以上。

(2)販売個数について前週(10/31週)と比較しドリンクタイプは横ばい、個食、大容量タイプは減少した。ドリンクタイプは5週連続で前年を上回っている。

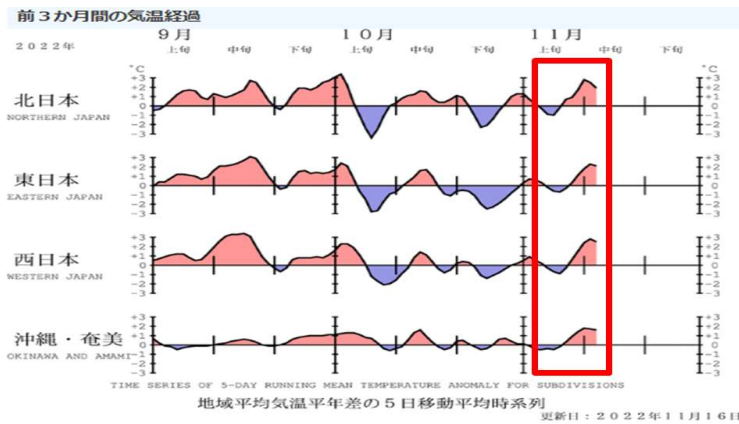
【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	9.19-	9.26-	10.3-	10.10-	10.17-	10.24-	10.31-	11.7-
ドリンクタイプ	↘	→	↘	→	→	→	→	→
個食タイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘
大容量タイプ	↘	↘	↘	↘	→	↘	↘	↘

- ↓ : 前年比90%未満
 ↘ : 前年比105%以上110%未満
- ↘ : 前年比90%以上100%未満
 ↑ : 前年比110%以上120%未満
- : 前年比100%以上105%未満
 ↑ : 前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

※11/7週の気温経過 出典:気象庁



※「2022年度生乳需要基盤確保事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」